

講座 No 1 5 セカンド解説 1/2

著 drapom

要望があったので軽くですが解説。

ちなみにぷよ用語でセカンドとは、第一波と言われる本線の連鎖終了後に作成するもう一つの連鎖のかたまりであり、第二波とも言い換えられます。

セカンドとはまず、通常の連鎖とは作成方法は違うということを念頭に置いておく必要があります。

まずは、限られた時間の中で連鎖を作成しなければならないということが一つあります。

おおまかな流れ（例）としては、

- ① 相手からの催促や潰し(3, 4 連鎖程度)に対し、
- ② こちら(1P)が本線 10 連鎖(連鎖終了まで約 14 秒)を先打ちする。
- ③ こちらの連鎖中は相手側(2P)は使った催促の分連鎖を伸ばしに行く。
- ④ 連鎖終了 38540 点。2P は適度なタイミングで発火。9D-10 連鎖 44760 点。
- ⑤ 差分 6220 点は 6 連鎖で返せる量なので頑張る作る。猶予時間は先程と同じく 14 秒。
- ⑥ 一手に付き約一手ひけるため 28 ぷよでなんとかする！！勝ち！！

セカンドと呼ばれるパターンとしては体感 8 割こんな感じですよ。皆覚えてね

まあこんな限られた時間なので毎回完璧に作れる方はさっさと初中級卒業しましょう。

その中でですが、まずは簡単にできる対処を幾つかポイントにして書き出してみようと思います。

- ① セカンドは高く作る。
一手に付き約 1 秒ではありますが、高くすればするほど一手における所要時間は少なくなります。カウンターになる可能性も無くはないので心がけていきましょう。
- ② 変に難しくしすぎない。(連鎖の方向性)
変態連鎖はプロな方に任せましょう。打てなくなります。
ただ、セカンドは多くの連鎖の種類を知っているだけで大分組みやすくなります。
- ③ 千切りは適度に
連鎖終了までの時間が特に限られているパターンの場合特に気をつけましょう。
ただ、ちぎりがゼロにして凄い連鎖が毎回作れるかというとなれないので適度にが一番
- ④ ゴミぷよは適当に連結させる。
かのミスケンさんや live さんも言うセカンド技術。てきとーに連結させたのち連鎖の方向性を見出していく方法だとやりやすいかと思われます。

次回はパート②！